

藤本食品株式会社広島工場温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

藤本食品株式会社 広島工場

(2) 事業所の所在地

広島県三原市沼田東町兩名972番地1

(3) 業種

0997 すし・弁当・調理パン製造業

(4) 事業所位置図

別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成26（2014）年度を基準年度とし、令和4年（2022）年度から令和8年（2026）年度までの5年間とする。

3 計画の基本的な方向

1.理念

当社は、環境の保全を重要課題と位置付け、計画的な設備投資、改良を行い、より環境に配慮した生産活動を行います。

すべてにおいてコンプライアンスを原点とし、自主的、継続的に環境保全活動に取り組みます。

2.重点項目

- ・省エネルギー、省資源の推進を行い環境負荷の低減に努める
- ・クリーン性の高い新エネルギーの導入推進を行う
- ・高効率機器への更新を計画的に実施する
- ・生産性の向上による原単位の改善を行う
- ・廃棄物の排出量の低減、分別によるリユース、リサイクルの推進を行う
- ・従業員への環境教育の徹底

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	平成26（2014）年度	令和3（2021）年度
二酸化炭素	5,763	4,039

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	平成（ ）年度	令和（ ）年度
二酸化炭素		

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	平成（ ）年度	令和（ ）年度
メタン		
一酸化二窒素		
その他 温室効果 ガス （ HFC PFC SF6 NF3 ）		

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成26 (2014) 年度)	削減目標		目標年度 (令和12 (2030) 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO2	5,763	25.0	1,728	4,035
非エネルギー起源CO2				0
メタン				0
一酸化二窒素				0
その他 温室効果ガス				0
温室効果ガス 実排出量総計				0
温室効果ガス みなし排出量		-		0
目標設定の考え方	燃料転換による理論改善値をベースにその他のエネルギー使用量の増減を考慮し設定			

※ 削減率(b) = (c)/(a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

単位：排出量(t-CO₂)，原単位量 (kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 () 年度)			原単位 削減目標	目標年度 (令和 () 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO2							
非エネルギー起源CO2							
メタン							
一酸化二窒素							
その他 温室効果ガス							
総排出量							
エネルギー消費原単位 (原油換算 k l)	-	-		0.0	-	-	
目標設定の考え方							

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項目	数値目標	具体的な取組
1	電気使用量の削減	電気の使用量を1%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ型空調設備への更新 ・稼働時間の分散による負荷の軽減 ・空調・給気ファンのフィルター定期清掃 ・製造時間外の消灯、空調設備の停止
2	燃料使用量の削減	蒸気使用量1%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ドレントラップの更新 ・蒸気配管、バルブの露出箇所保温 ・末端機器の設定温度の見直し
3		生産設備の余熱、待機時間を5%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・電源ON・OFF管理、推進リーダーによる職場巡回実施 ・空運転時間の抑制、稼働時間見直し
4	燃料転換		C02排出量の少ない燃料、電力への切り替えを検討

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組

	項目	数値目標	具体的な取組
1	廃棄物の削減		<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の分別の徹底 ・ペーパーレス推進
2	汚泥排出量削減	排出量5%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・工場節水取組、排水量、原水水質改善 ・含水率の改善
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制

【エネルギー管理統括者】代表取締役
↓
【エネルギー管理企画推進者】製造本部本部長
↓
【推進責任者】工場長
↓
【推進リーダー】課長、係長

(2) 実施状況の点検・評価

・毎月の製造部会議において、推進リーダーが省エネ計画の実施状況の報告を行い、推進責任者が取組内容についての評価を行う。
・年度毎に温室効果ガスの削減状況を推進責任者が算出、調査し、エネルギー管理企画推進者に目標の達成に向けての今後の取組内容の報告を行う。
エネルギー管理企画推進者は改善案を精査、協議しエネルギー管理統括者に報告を行い、次年度の取組内容についての承認をとる。

(3) 計画書等の公表

・事業所に備え付けて閲覧する。